

J R 総連通信

2022年12月12日 No.1606

全日本鉄道労働組合総連合会（JR総連） <http://www.jr-souren.com>

JR総連・JR貨物労組

国交省へ「今後の鉄道貨物輸送に関する要請」をおこなう！



JR総連とJR貨物労組は12月9日、JR総連推薦議員懇談会共同代表・末松義規衆議院議員と共に、国土交通省に対して「今後の鉄道貨物輸送に関する要請」をおこない、上原淳鉄道局長に要請書を手交しました。

要請内容について、上原淳鉄道局長からは「貨物鉄道輸送は国家プロジェクト的な位置づけとして捉えている。今後の並行在来線のあり方については、旅客輸送と貨物輸送の両面から検討していく」との考えが述べられました。

鉄道局貨物鉄道政策室との意見交換には、JR総連推薦議員懇談会のすべての共同代表（小宮山泰子衆議院議員・篠原孝衆議院議員・末松義規衆議院議員・福田昭夫衆議院議員・徳永エリ参議院議員・牧山ひろえ参議院議員※衆・参50音順）にも駆け付けていただき、北海道新幹線開業に伴う並行在来線や青函トンネルの共用走行についての課題、アポイダブルコストルールや貨物調整金の重要性、災害や異常時対応についての課題、「今後の鉄道物流のあり方に関する検討会」で出されている荷主からの課題に対する支援について、私たちの意見を後押ししていただきました。

JR総連は各単組と共に、組合員の要求実現にむけて、JR総連推薦議員懇談会所属の議員をはじめとする国会議員のみなさまと連携して取り組みます！